

ハザードマップ1



凡例	
	避難所
	二次避難所
	避難方向
	急傾斜地崩壊危険箇所
	防災行政無線塔(スピーカー)

多摩川洪水ハザードマップ
 この地図は、国土交通省が平成14年2月に公表した「多摩川浸水想定区域図」を基に、浸水するエリアと深さの状況ならびに避難所を示した洪水避難地図(洪水ハザードマップ)です。
 この浸水想定区域図は、200年に一度程度の確率で降る大雨(多摩川流域に2日間総雨量457mm)によって多摩川が増水し、万が一、堤防が決壊して氾濫した場合に想定される浸水エリアと深さの状況をシミュレーションしたものです。
 いざという時に備え、日頃から避難所や避難経路を確認しておきましょう。
 なお、地図に示した浸水区域以外でも状況によっては浸水することもありますので、注意してください。
 多摩川浸水想定区域図については次のホームページでも公開しています。
 国土交通省京浜河川事務所 <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>

新たにハザードマップを、令和2年6月に作成しました。このハザードマップと併せてご確認ください。新たなハザードマップは[こちらから](#)

残堀川流域浸水予想区域図について
 (1) この図は、残堀川流域を対象にして、大雨が降った場合に、浸水が予想される区域と想定される最大の水深を示したものです。
 (2) 皆様には、洪水の可能性について知っていただくことにより、「緊急時の水防、避難」、「水害に強い生活様式の工夫」等に役立てていただくようお願いいたします。
 (3) この浸水予想区域図は、平成12年9月に発生した東海豪雨が「対象とした地域」に降った場合に、シミュレーションにより予測される浸水の状況を示したものです。シミュレーションでは、対象とした地域における現時点での河川及び洪水調節池等の整備状況等を考慮しています。
 (4) 浸水の予想される区域及びその程度は、雨の降り方や土地の形態の変化及び河川、下水道の整備状況等により変化することがあります。

